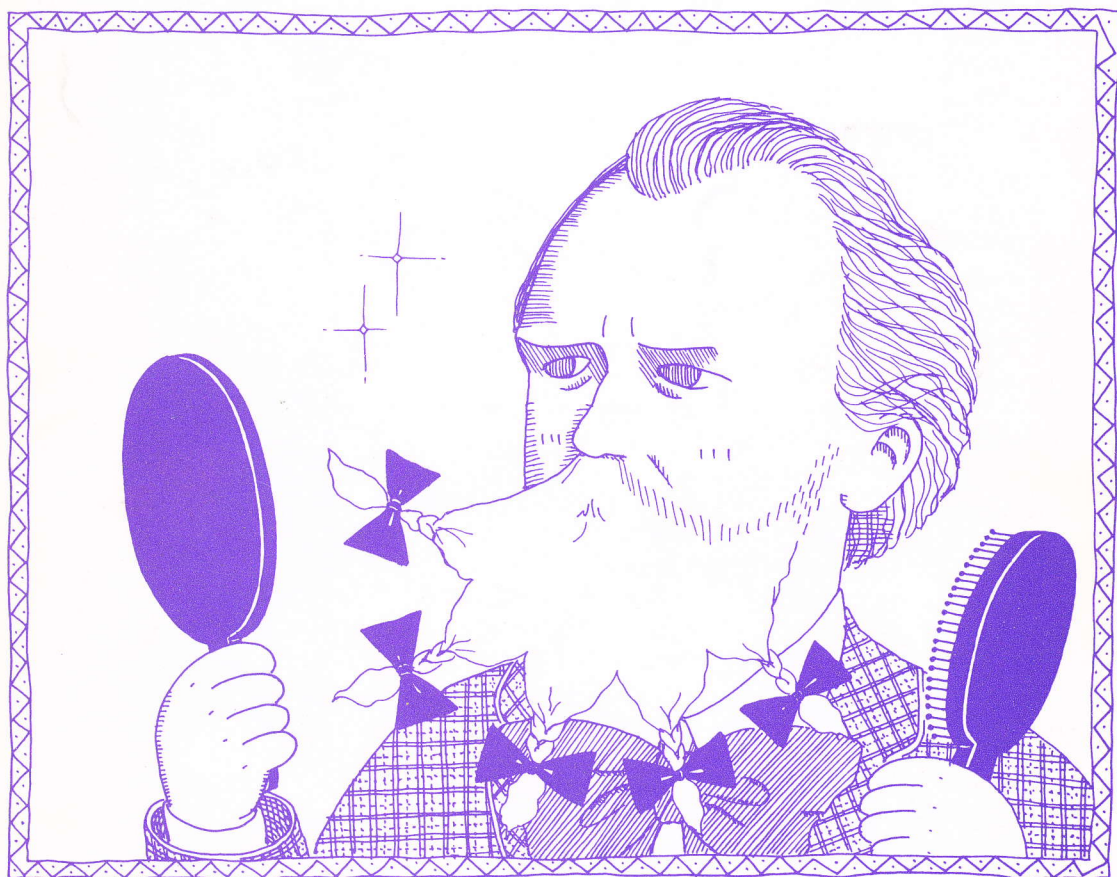


神戸大学交響楽団

'90 SUMMER CONCERT



1990年7月7日(土)7:00開演 尼崎市総合文化センター
アルカイクホール

後援：兵庫県、神戸市民文化振興財団、兵庫県オーケストラ協議会、神戸新聞社

協賛：神栄石野証券株式会社、株式会社豊田自動織機製作所

PROGRAM

交響詩「死の舞踏」 作品40

DANSE MACABRE POEME SYMPHONIQUE

C・サン＝サーンス

Camille SAINT-SAENS

指揮：山内靖雄

コンサートマスター：三宅琴子

チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

VIOLONCELLOVÝ KONČERT h-Moll Op.104

I Allegro

II Adagio ma non troppo

III Finale, Allegro moderato

ドボルザーク

Antonín Dvořák

指揮：中村ユリ

チェロ独奏：林 峰男

コンサートマスター：大田 健

交響曲第一番 ハ短調 作品68

SINFONIE Nr.1 c-Moll Op.68

I Un poco sostenuto-Allegro

II Andante sostenuto

III Un poco allegretto e grazioso

IV Adagio-piu Andante-Allegro non troppo ma con brio

ブラームス

Johannes Brahms

指揮：中村ユリ

コンサートマスター：大田 健

ごあいさつ

神戸大学交響楽団顧問 谷 武 幸

神戸大学交響楽団のサマーコンサートをここに開演できますことを顧問としてたいへんうれしく思っています。それとともに、ご来場いただきました皆様、ならびに客演指揮者中村ユリ氏をはじめ関係各位に心からの謝意を表します。

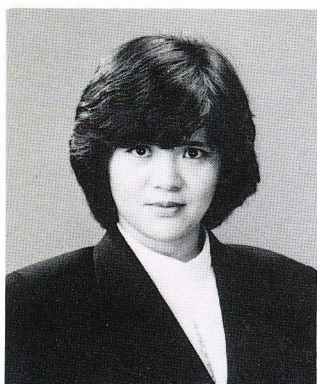
ブラームスの交響曲第1番ほかをとりあげます。今宵の音楽を少しでも楽しんでいただければ幸いです。皆様の率直な感想を拍手に託していただければ、部員の励みとなりますので、よろしく願います。

響友会・会長 千 葉 修 二

一年に一度か二度の皆様方と神大オケとの出会いが、今回は丁度七夕の日になりました。今日初めてご来場になられた方もおありだと思いますが、今後もこの出会いを忘れられないで、是非おいで頂きたいものだと思います。

世界中の音楽会で演奏されている曲の数は何千とありますが、常に脇役として不遇の身を嘆いているティンパニーが一躍、主役に躍り出る曲は殆どありません。が、今宵演奏されるブラームスの交響曲第一番は、そのティンパニーが第一楽章の冒頭からえんえんと鳴り響きます。連続して一体何回叩かれるのか、数えてみられるのも一興でしょう。(正解は同音が51回) クラシック音楽は決して難しいものではありません。こんな聞き方もあなたに内在する音楽性を呼び起こし、人生の楽しみを多くするきっかけとなることと思います。

プロフィール

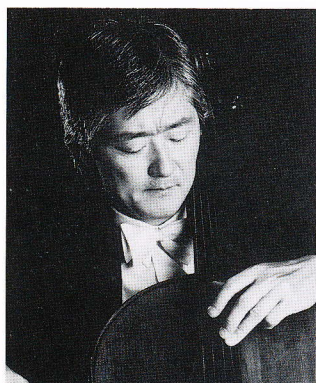


客演指揮 **中 村 ユ リ**

1984年、国立音楽大学卒業。指揮を小松一彦に師事。在学中に同大学歌劇研究会公演「皇帝ティトの慈悲」を指揮。

卒業後、各地の市民交響楽団、吹奏楽団、アマチュアオペラ等で研鑽を積む。

1987年、桐朋学園大学指揮科ディプロマコース入学。指揮を尾高忠明、秋山和慶、小澤征爾の各氏に、ピアノを三瀬あけみ、三善晃の各氏に師事。府中市民交響楽団、静岡フィルハーモニー、富士フィルハーモニー、八戸フィルハーモニー、グリーンフィルハーモニー、慶応大学クゲネルソサィエティOBオーケストラ、同志社大学交響楽団、北里大学交響楽団の客演副指揮を務める他、オーチャードホール主催「魔笛」公演合唱副指揮、東京室内歌劇場副指揮をはじめ、武蔵野合唱団、東響コーラス、府中コールフロイデ、東京レディーズシンガーズの副指揮を務め、声楽の分野にも精力的に活動している。



チェロ独奏 **林 峰 男**

1946年、東京生まれ。幼少より巨匠P・カザルスの弟子の佐藤良雄氏のもとで学ぶ。東京芸術大学付属高校から桐朋学園音楽大学において名教師斎藤秀雄氏に師事。1970年、ドイツ、デュッセルドルフに留学。さらに名門スイス、ジュネーブ音楽院に学び、72年、首席で卒業。1973年、ローザンヌ室内オーケストラとの共演でデビュー。1974年、スイス、モントルー音楽院、スイス、ジュネーブ音楽院助教授として教鞭をとる。

1975年10月、ベオグラード国際チェロコンクールで第一位を獲得。1976年11月、ワシントン、ニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを行ない、N.Y.タイムズ他批評家の間で絶賛される。1977年12月、バルセロナ近郊とカザルス生誕の地でカザルス生誕百年記念無伴奏コンサートを行なう。以後、フランス、スイスで50回に及ぶリサイタルをはじめユーゴ、日本、韓国、スペイン等で多くの演奏会をこなしている。1985年、バッハ生誕300年を記念し、チェリストのバイブルと呼ばれる〈無伴奏チェロ組曲全6曲〉を一夜で演奏する企画で日本縦断コンサートを行なった。1987年、ユーゴの名ピアニスト、パヴィッツァ・グヴォズディッチと共にサントリーホールをはじめ各地でリサイタルを行ない絶賛される。1988年、大谷洞窟内で二晩にわたり無伴奏チェロ組曲を演奏し、各方面で話題となる。1989年、「Contemporary in Classic」と題してカザルスホールにてリサイタルを行う。トマ・プロシェフ作曲チェロ・ソナタを日本初演し、好評を博す。秋にベルギーで開催されたユーロパリア'89に参加。12月、「パブロ・カザルスに捧げるチェロ連続リサイタル」に参加し話題となる。現在、スイス、ローザンヌに本拠を置き、活躍中。

トレーナーの先生方 **稲 庭 達** (神戸女学院講師)

宇治原 明 (大阪フィルハーモニー 首席ファゴット奏者)

宮 村 聡 (京都市交響楽団 首席トランペット奏者)

以上の先生方に御指導いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。